

平成 28 年度の事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人アットマークリアス NPO サポートセンター

1 事業の成果

(1) 被災地 NPO の組織基盤強化のための研修と市民活動支援センター設置事業

地元 NPO 等の持続的な組織運営の基盤はなお脆弱であり後期復興フェーズにおいて活動を継続するために必要な組織基盤の強化は喫緊の課題となっていることから以下の事業を行うこととする。

➤ 「市民活動支援センター機能設置」

現地 NPO や市民活動団体が気軽に相談できる場所を設置し、団体の活動をサポートすることを旨とする。

- 相談対応業務 対応数・・・21 件
- NPO 等の団体訪問 訪問数・・・15 団体/50 回
- スタッフのスキルアップ研修 15 回

➤ 「NPO・市民活動団体の組織基盤強化プログラム」

現地 NPO に必要な運営力・資金力・スタッフのスキルなど NPO 活動を継続するために必要なノウハウやスキルを研修プログラムとし実施する。

● 第 1 回 NPO 勉強会

開催日：2016 年 5 月 27 日（金）14:00～16:00

場所：カリタス釜石多目的ホール

講師：篠原 辰二氏（一般社団法人 Wellbe Design 理事長）

内容：災害時に備えたネットワークづくり

● 第 2 回 NPO 勉強会

開催日：2016 年 10 月 12 日（水）13:30～16:30

場所：カリタス釜石多目的ホール

講師：鈴木 祐二（公益財団法人 地域創造基金さなぶり）

内容：ファンドレイジング講座

資金が集まる団体と集まらない団体はここが違う！

● 第 3 回 NPO 勉強会

開催日：2016 年 9 月 5 日（月）・26 日（月）10:00～17:00

場所：カリタス釜石多目的ホール

講師：遠藤 智栄さん（地域社会デザイン・ラボ代表）

内容：ワークショップだけじゃない。

ミーティングや会議の場面にも活用できる！ファシリテーション講座

● 第 4 回 NPO 勉強会

開催日：2016 年 10 月 26 日（水）13:30～16:30

場所：カリタス釜石多目的ホール

講師：鈴木 祐二氏（公益財団法人 地域創造基金さなぶり）

内容：今日から実践出来る！ポイントを押さえた助成金申請書の書き方講座

- 第5回NPO勉強会

開催日：2016年11月11日（金）13:30～16:30

場所：カリタス釜石多目的ホール

講師：古賀 桃子さん（ふくおかNPOセンター 代表）

内容：共感を得るため～団体が伝えたいことを相手に伝える方法～

- 第6回NPO勉強会

開催日：2016年11月25日（金）13:00～17:00

場所：カリタス釜石多目的ホール

講師：岡本 達也氏（株式会社 電通中部支社・統括・戦略クリエイティブ・ディレクター）

内容：NPO広報力アップ

「伝えるコツ 2016」釜石セミナー

NPOのコミュニケーション力は、ちょっとしたコツでアップする。

「NPO・社会福祉協議会・市民活動団体とのネットワーク形成」

- 釜石地域まちづくり連絡会議の開催

2013年4月より復興支援活動を中心とするNPO・NGO・社会福祉協議会・行政・の情報共有の場として「釜石地域まちづくり連絡会議」を44回開催してきた。今後も継続的に開催する事で復興の一助を目指す。

- 毎月第2木曜日開催

(2) 若者UPサポートオフィス東北事務局事業

- 東北6県の中で、若者UPプロジェクトに参加している団体が、円滑に活動出来る様サポートを行う。

- 岩手県（3団体）宮城県（2団体）・福島県（1団体）の団体訪問。

- 若者UP事業における参画団体において、講師のITスキルを確保するため東北エリアでの研修を行う。

- 研修内容：若者UP YouthSpark 認定トレーナー試験

開催日：2016年7月7日

会場：宮城県仙台「日本マイクロソフト株式会社 東北支店セミナールーム」

- 研修内容：マインクラフト体験会

開催日：2016年9月28日

会場：宮城県仙台「日本マイクロソフト株式会社 東北支店セミナールーム」

(3) 東北被災地での市民・コミュニティのエンパワメント

釜石市内の仮設団地2ヶ所を中心に定期的なイベントの開催を実施し、住民同士の交流機会の創出や助け合える環境づくりのお手伝いをする事で、地域住民同士の互助や役割分担、生きがいとなる楽しみが生まれていき、市民相互のエンパワメントが実現されることを目的としている。また、地域の高校生の自発的な活動に対しサポートをすることで、活動の活性化を促し、高校生の輪を広げ新たな活動の芽をより多く育てることを目的とする。上記の事業については、積極的に他団体との連携をすることで多くの市民を巻き込み、地域全体がエンパワメントされていくような事業を実施していく。

▶ 仮設住宅談話室等でのイベント開催

- 仮設住宅団地談話室で手芸・カラオケ・料理づくり等のイベント開催

実施日	実施場所	連携団体	参加人数
平成28年4月23日	箱崎C仮設団地	全心連※1	6人
6月18日	箱崎C仮設団地	全心連	12人
6月18日	甲子第9（大松）仮設団地	岩手大学	8人
7月23日	箱崎B・C仮設団地	岩手大学	11人
8月27日	箱崎C仮設団地	全心連	9人
8月27日	甲子第9（大松）仮設団地	カウンセラー協会※2	8人
9月23日	箱崎B・C仮設団地	岩手大学	5人
10月22日	箱崎C仮設団地	全心連	5人
10月22日	甲子第9（大松）仮設団地	岩手大学	10人
10月29日	平田第5仮設団地	カウンセラー協会	14人
11月9日	栗林第4仮設団地	カウンセラー協会	5人
11月26日	箱崎B・C仮設団地	岩手大学	6人
12月8日	田郷D仮設団地	カウンセラー協会	6人
12月17日	箱崎C仮設団地	全心連	7人
12月17日	甲子第9（大松）仮設団地	岩手大学	16人
平成29年1月14日	鶴住居第2-D仮設団地	カウンセラー協会	20人
1月28日	箱崎B・C仮設団地	岩手大学	11人
2月15日	栗林第1仮設団地	カウンセラー協会	10人
2月18日	箱崎C仮設団地	全心連	5人
2月25日	甲子第9(大松)仮設団地	岩手大学	9人
3月4日	箱崎B・C仮設団地	岩手大学	6人
3月4日	甲子第9(大松)仮設団地	カウンセラー協会	11人

参加延べ人数：200人

▶ 市内外の他団体および協力者との連携による活動の実施

- 仮設住宅やその他の活動場所でのサロン活動やイベントを、他団体との連携により実施する

実施日	実施場所/内容	連携団体	参加人数
平成28年4月29日	市内各所	三つな※3	24人
～5月8日	熊本地震への募金活動		参加高校生
5月29日	昭和園仮設団地	三つな	50人以上
	マグネットイベント※4		
8月5日	釜石よいさ	三つな	17人
	物販ブースボランティア活動		参加高校生
平成29年1月9日	田郷仮設団地	三つな	50人以上
	かまっこまつり		

参加延べ人数：141人以上

➤ 復興公営住宅でのコミュニティ形成支援に関する情報収集とイベントの開催

- 市内の復興公営住宅の自治会の有無や活動状況の調査
- 新しい公営住宅でのイベントの開催

実施日	実施場所	連携団体	参加人数
平成28年9月30日	平田災害公営住宅	カウンセラー協会	16人
12月7日	上中島Ⅱ期復興公営住宅	カウンセラー協会	15人
平成29年2月4日	復興公営住宅大町4号	カウンセラー協会	21人
3月3日	復興公営住宅鶴住居中心部集合1号	カウンセラー協会	14人

参加延べ人数：66人

- ※1 一般社団法人全国心理業連合会
- ※2 一般社団法人プロフェッショナル心理カウンセラー協会
- ※3 一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校
- ※4 『釜石マグネットぬりえプロジェクト』芸術家日比野克彦氏監修
ハートモチーフの四角いマグネットシートを建物の壁に貼り付け彩りを創出するイベント

(4) 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業

➤ 「記憶と記録のプロジェクト：ノコノコスコープ in 釜石・大槌」

- 釜石・大槌の4ヶ所で定期的に動画及び写真で記録した。

➤ こども創作教室「ぐるぐるみつくす」 in かまいしこども園

- 2016年8月30日(火) ぐるぐるみつくすについてのプレゼンテーション
- 2016年10月4日(火) ワークショップ①「不思議生物じゃーし」
- 2017年1月31日(火) ワークショップ②「自分シール・自分マーク」
- 2017年2月14日(火) ワークショップ③「ぐるぐるねんど」

➤ とうほくのこよみのよぶね

- 平成29年3月11日

開催場所：岩手県釜石市鶴住居町・宝来館・根浜海岸(大槌湾) 参加人数：300人

(5) 生活再建移行期被災者支援連絡員事業

➤ 仮設住宅団地及び災害復興公営住宅巡回訪問

- 支援連絡員が仮設団地内を1日1回及び災害復興公営住宅を週2回巡回し、住民の在宅・不在確認(安否確認)、普段との違いが無いか、設備等各種破損が無いか確認した。

仮設全域巡回数 284,151回

釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶴住居	栗橋	唐丹
32,863回	35,479回	32,726回	44,245回	25,102回	82,783回	24,215回	6,738回

復興住宅巡回数 46,011回

釜石	平田	小佐野	中妻	鶴住居	唐丹
11,368回	9,074回	2,011回	15,452回	3,153回	4,953回

➤ 談話室・集会所の管理

- 談話室・集会所の鍵管理とスケジュールの管理を行った。

イベント開催数 3,086回

釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶴住居	栗橋	唐丹
253回	257回	475回	915回	164回	749回	234回	39回

▶ 住民からの相談受付

- 仮設団地に居住する住民から各種相談を受け付け関係各所に繋ぎ、解決を図った。又、現場での対応処置も行った。

仮設住民からの相談受付件数 719件

釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶴住居	栗橋	唐丹
130件	88件	65件	63件	134件	163件	48件	28件

復興住宅からの相談受付件数 93件

釜石	平田	小佐野	中妻	鶴住居	唐丹
42件	6件	3件	21件	14件	7件

▶ 仮設住宅の清掃等

- 談話室及び住宅敷地内の清掃・草刈り・除雪等については、適宜行い団地の環境美化に努めた。

▶ コールセンターへの入電

- 当法人内にコールセンターを設置し、仮設団地に関する問い合わせやイベントの予約等の電話を受け付けた。入電件数は下記の通りである。

コールセンターへの入電数 1,642件

問合せ	イベント関係	苦情	取次	その他
253件	481件	3件	256件	649件

▶ 仮設住宅空き室管理

空室管理部屋数 489室

釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶴住居	栗橋	唐丹
20室	203室	30室	92室	6室	93室	45室	0室

▶ 仮設間引越補助（地区～）

仮設間引越補助（地区～） 76回

釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶴住居	栗橋	唐丹
1回	11回	43回	0回	17回	2回	1回	1回

(6) 三陸鉄道支援事業

- ヤフー・ポケモン「三陸鉄道応援プロジェクト」
上記の寄付プロジェクトを基に各駅の銘板を修復し、三鉄の復興に寄与した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
住民の地域社会に対するNPO活動の支援に関する事業	被災地NPOの組織基盤強化のための研修と市民活動支援センター設置事業	平成28年4月1日～平成29年3月31日	釜石市内	3人	市内NPO団体等	6,326
地域を活性化させるための人材(起業家)の育成、支援に関する事業	若者UPサポートオフィス東北事務局事業	平成28年4月1日～平成29年3月31日	釜石市内	2人	市内NPO団体等	2,875
住民の地域社会に対するNPO活動の支援に関する事業	東北被災地での市民・コミュニティのエンパワメント	平成28年4月1日～平成29年3月31日	釜石市内	3人	市内仮設住宅団地及び復興公営住宅の住民等	7,354
住民の地域社会に対するNPO活動の支援に関する事業	東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業	平成28年4月1日～平成29年3月31日	釜石市内	3人	釜石市内の住民等	1,260
行政団体・市民団体等の業務受託に関する事業	生活再建移行期被災者支援連絡員事業	平成28年4月1日～平成29年3月31日	釜石市内	31人	市内仮設住宅団地及び復興公営住宅の住民等	83,310
住民の地域社会に対するNPO活動の支援に関する事業	三陸鉄道支援事業	平成28年4月1日～平成29年3月31日	釜石市内	2人	三陸鉄道利用者	1,495
					事業費合計	102,620

(2) その他の事業

実施しなかった。